

★小惑星探査機はやぶさとは？



重さ:510キログラム

本体サイズ:1.6メートル

メインエンジン:世界初のイオンエンジン

最大速度:秒速30キロ(20秒で地球1周)

その使命は、太陽系の謎を解く力平:  
小惑星イトカワのかけらを拾って、

地球に持って帰ること

18年もの間、計画されてきた無人小惑星探査機。  
それは、ただの機械だけど、みんなの想いをのせていた。

太陽より遠い宇宙の彼方にある、小惑星イトカワのサンプルを採取して、地球に帰還する。

人類初のプロジェクトへの期待と、人々の想いをのせて、2003年5月9日、小惑星探査機(はやぶさ)が打ち上げられた。

〈はやぶさ〉の エンジニア助手・大橋健人は、失敗に終わった火星探査機〈のぞみ〉のプロジェクト責任者の父・伊佐夫への反発もあり、〈はやぶさ〉の成功への想いが人一倍強い熱血漢。つい周りとも衝突しがちの健人だが、伊佐夫に憧れて宇宙研究を志した新米理学博士・野村奈緒子や、プロジェクトメンバーたちと共に、エンジンからの 燃料漏れ、地球との通信途絶、4基のメインエンジンの全停止など様々な〈はやぶさ〉の困難を乗り越える中で、チームの一員として成長していく。

そして、いつしか〈はやぶさ〉は、その帰還に懸けた関係者だけでなく、日本中に勇気を与えていくのだった…



小惑星イトカワへのタッチダウン(着陸)を成功させる!

2年の歳月をかけて小惑星イトカワに無事到着した〈はやぶさ〉。だが、すでに姿勢制御装置(リアクションホイール)3基のうち2基が故障していた。残りの1基と12基の小型化学エンジンで、イトカワへのタッチダウンに挑戦するが…

エンジンからの燃料漏れ発生。姿勢を制御できるか!?

エンジンに燃料漏れが発生。〈はやぶさ〉は姿勢をくずして不規則に回転を始めた。姿勢を制御しなければ、太陽光も受けられず地球との通信もやがて途絶えてしまう…成功の可能性の低い、イオンエンジンの噴射に賭けようとした時、エンジンチームが見つけた解決策とは?

広大な宇宙空間から“はやぶさ”を見つけだせ!

燃料漏れが悪化した〈はやぶさ〉は、姿勢を保つことができず、どんどん傾いていく。遂には制御不能になり、電波も通信も途絶え、宇宙の闇に消えていった。これまで行方不明になって見つかった探査機はない…しかし、わずかな可能性に賭けてプロジェクトチームの挑戦は続く!

イオンエンジン全停止。それでも地球へ帰還せよ!

1万5000時間も働いてきたイオンエンジン最後の1基が停止。遂に4基全てのイオンエンジンが停止した…その後、1基のエンジンが回復したが、地球に帰るには、パワー不足。エンジンチームが仕込んだ奥の手とは?

宇宙体感の3Dで贈る、機械と人の冒険の旅



希望をのせて戻ってこい!

エンジンからの燃料漏れ、通信途絶、メインエンジン全停止…予測不能な困難を越えて、小さな惑星探査機は地球を目指す。



おかえり、はやぶさ

藤原竜也 香 三浦友和

前田旺志郎 森口悠子 田中直樹(コウキウ) カニング竹山 豊原功補 宮崎美子 大杉漣 中村梅雀

監督:本木克英 脚本:金子ありさ 音楽:富田勲 協力:JAXA 宇宙航空研究開発機構

製作総指揮:池田忠雄 プロデューサー:田村健一 野地千秋 野島明 監製:藤澤剛 T.S.C. 照明:金沢正夫 美術:西村浩志 録音:鈴木博 編集:川崎功 脚本協力:小園ひろみ 装飾:佐藤孝之 A.F.S.スーパースターセンター 助監督:石田和典 製作主任:田中明博 ラインプロデューサー:小松次郎 山田久夫 製作:おがみり、日産自動車 製作委員会 製作協力:松竹映画センター 制作プロダクション:松竹映画 東京スタジオ 制作:松竹映画



3.10 ロードショー 3D・2D 同時公開

hayabusa3d.jp

3月10日(土) 3D 宇宙にとびだせ!

前売鑑賞券発売中! かなり飛び出す!「はやぶさ3Dクリアファイル」付  
一般券 ¥1,300 / 小人券 ¥800 (税込) ※1枚につき1個 ※数量限定、なくなり次第終了  
※一部劇場を除く ※前売特典は劇場窓口限定です  
3D・2D 同時公開 3D版をご鑑賞の際は窓口にて追加料金が発生します。



# 宇宙体感3Dで、〈はやぶさ〉と一緒に 7年・60億キロ——冒険の旅に出よう!



2003年5月9日、小惑星探査機〈はやぶさ〉が  
鹿児島県、内之浦の宇宙空間観測所から打ち上げられた。  
その時、この小さな機械が、日本中に勇気を与える存在になるとは、  
誰も思っていなかった。

あなたはきっと、  
〈はやぶさ〉と人間が  
好きになる——



宇宙の旅には数えきれない困難が待っていた。  
エンジンからの**燃料漏れ**、宇宙の彼方に消えてしまった  
**通信途絶**、**メインエンジンの全停止**。  
本当は35億キロ・4年だったはずの旅は、  
**60億キロ・7年間**になった。  
だから機体の寿命もとっくに過ぎていた。  
それでも〈はやぶさ〉は帰ってきた。  
2010年6月13日、太陽よりも遠い小惑星**イトカワ**で拾った、  
**宇宙の謎**を解く星のかけらを地球に届けて、  
大気圏の中で燃え尽きていった…  
それは、世界のどこも、NASAだってやったことのない**奇跡**。  
そして、〈はやぶさ〉と、そのプロジェクトチームの人たちの、  
どんな困難が起こっても**“あきらめない”**挑戦は、  
なんだか元気のなかった**日本に勇気**をくれた。

のぞみプロジェクトマネージャー  
大橋伊佐夫 (三浦友和)  
健人の父。リーダーとして、人生を懸けた火星探査機(のぞみ)プロジェクトが失敗に終わってからは、人と会う事を選べるようになり、健人ともうまく打ち解けられない。



岩松風也 (前田旺志郎)  
宇宙が大好きな健人の弟分の小学生。〈はやぶさ〉に、母の病気快復の願いを託す。



〈はやぶさ〉プロジェクトを引っ張るリーダーたち



〈はやぶさ〉プロジェクトマネージャー  
江本智彦 (大杉漣)



JAXA 対外協力室長  
増沢公孝 (中村梅輔)



## ★3Dの迫力と奥行で、〈はやぶさ〉に心が生まれる!

全編3Dの迫力で、数々の困難を切り抜けていく〈はやぶさ〉の宇宙の旅を再現。〈はやぶさ〉が翼(太陽電池パドル)を広げて太陽からエネルギーを受ける力強さや、宇宙を旅する孤独な姿が、3Dならではの奥行で、まるで心をもった機械の様に迫ってきます。  
〈はやぶさ〉と旅をするのは、父を乗り越えて成長していくJAXAエンジニア助手と新人理学博士の新米コンビと、家族の安否を〈はやぶさ〉に託す小学生。そして、〈はやぶさ〉に人生の全てを懸けた、実在のプロジェクトメンバーたち。日本の“これから”と“いま”を担う彼らが一緒に、困難を乗り越える冒険の旅は、未来に向けて一歩踏み出す勇気をも、もう一度、日本にくれるかも知れません。

JAXA理学博士  
野村奈緒子 (杏)  
伊佐夫に影響を受けて宇宙研究の道へ進んだ新米理学博士。純粋に宇宙のロマンを追い求めるところが、現実的な健人とかみ合わないことも。



JAXAエンジニア助手  
大橋健人 (藤原竜也)  
プロジェクトの失敗以来、心を閉ざしてしまっただけの奇立ちもあり、〈はやぶさ〉成功への想いは人一倍の熱血漢だが、工学系らしく現実的なところもある。



## ★失敗も成功も次に受け継いでいく 日本の宇宙開発の歴史=親子のきずな

出演に、藤原竜也、杏、三浦友和、前田旺志郎など各年代に亘ったキャストが集まり、〈はやぶさ〉だけでなく、〈はやぶさ〉の前の火星探査機(のぞみ)、後を継ぐ〈イカロス〉も登場、成功も失敗も、次の挑戦の大切な経験にして受け継いでいく日本の宇宙開発の歴史が、親子の絆の再生を通して描かれます。  
監督は、「ゲゲゲの鬼太郎」シリーズ、「犬と私の10の約束」など、VFXとドラマの融合に定評のある本木克英。  
2012年3月10日、はやぶさと一緒に冒険の旅に出発しましょう!



イオンエンジン  
チームリーダー  
山田幸一 (豊原功補)

